

# 海士の元気の源、 「交流」の象徴

山内道雄町長は今年のキンニヤモニヤ祭りについて、第20回は単なる節目ではない。20年続いたということが、海士町の活性化につながっている点が素晴らしい。キンニヤモニヤは菱浦出身の杉山松太郎じいさんが明治10(1877)年に西南戦争の従軍地(九州)から持ち帰って、その後も歌い継がれ踊り継がれてすっかり海士独自の文化になり、住民の元気の源となった。よそからもってきたものが島の風土と調和して新しい価値を生むなんて、何とも海士らしいと語っています。



(↑)東京・浅草の民謡酒場「追分」から特別ゲストが登場！圧倒的なステージで観客を魅了



なぜキンニヤモニヤ祭りはこれほど愛され、多くの皆さんがリーダーになってくれるのか。その魅力を町長に聞いたところ、まずキンニヤモニヤ踊りのユニークさ。そして、出会いと交流！と断言。また、実行委員長であり隠岐國商工会長でもある田仲壽夫さん曰く、長く続いた要因として、島外からの応援がとても大きい。何度も来て頂けるのはイベント内容が面白いだけではなく、まちづくり同様、この島の人の魅力のおかげだと思えます」

キンニヤモニヤ祭りは、町のスローガンにも掲げられている「交流」の象徴です。そして、「新しいものはない」というキャッチコピーに込められた海士人の志、地域の絆を大切に、島の宝に誇りをもつて前向きに頑張ろうよ！という島民の想いが詰まっています。

運営スタッフや屋台の皆さん、今年もお疲れさまでした。参加者の皆さん、ご来島いただいた大勢の皆さん、誠にありがとうございました。

また来年も元気いっぱいにしてやもじを打ち鳴らし、一緒にキンニヤモニヤの輪を作りましょう！



**QRコードを読み取って写真にスマートフォンをかざすと、動画が再生されます。**

### 手順①

ジュナイオ  
スマホのアプリ (Junaio)  
をインストールする

### ②

QRコードを読み取る  
(スキャンする)

### ③

スマホを  
写真にかざす

詳しい手順は、広報海士7月号のP5をご覧ください。

- ※QRコードが無い記事は動画を見ることができません。
- ※動画再生までに時間がかかることがあります。その場合はスマホを写真にかざしたまましばらく待って下さい。
- ※パケット定額サービスをご利用でない方は、動画の視聴に多額の通信料が発生する場合があります。
- ※Wi-Fi(ワイファイ)が利用できる環境での視聴を推奨します。

- 試験的に導入するサービスであり、この機能は12月15日(火)までの期間限定です。
- このスマートフォンアプリに関するお問い合わせは、  
合同会社 隠岐アイランズ・メディア【TEL】08514-2-1136(担当/山口)までお願いします。

# パレード、初の町内生中継！ 現場の興奮をすべての町民へ

第20回を記念し、海士町として初めて、町営の地元ケーブルテレビ「あまコミュニティチャンネル」でキンニヤモニヤ・パレードの様子が町内限定で生中継されました。

これは県内14局でつくる島根県ケーブルテレビ協議会の協力により実現したもので、海士町の既存設備を補う専用機器や、雲南市からやってきた中継車も含め、総勢21名の撮影スタッフが県内各地から海士町へ結集。中継用3台と録画用2台、計5台のカメラでパレードを多面的に撮影するとともに、町内の各家庭や福祉施設などにリアルタイムで中継番組を配信しました。

中継用ケーブルの敷設作業



中継車で打合せ



女子アナさん3名  
(出雲、石見、松江)  
も収録のため来島



(↑) 福来の里でテレビに見入る皆さん

★生中継放送は町内のみでしたが、本土の県内各ケーブル局でも録画映像を使ったキンニヤモニヤ特集番組を9～10月中旬に放送予定です。本土の皆さま、是非ご覧ください！

ひまわりや諏訪苑、福来の里といった各福祉施設では入居者の皆さんが生中継のスタートを心待ちにテレビの前に集まって、身を乗り出すようにして画面に釘づけになる姿が見られ、「面白い。ぜひ来年も中継してほしい」との声もあがりました。また、「大変だから会場へは行けないけど家で観られてよかった、参加している気分で嬉しかった！」(いつも家にいる90歳女性)、「店を空けられないので毎年パレードに出げでリアルタイムで楽しめた。働いている人にとっては良かったと思う。ありがとう」(店員さん)

といった意見も寄せられています。協議会チームのリーダーとして来島した、石見ケーブルビジョン(浜田市)の山根勇作常務取締役は、「ケーブルテレビはそもそも情報弱者のためのもの。事情があつて会場へ行けない人も一緒に楽しめたらそれは最高の仕事です。今回の一番の感動は、町の人みんなのワクワクが強烈に伝わってきたこと。海士が大好きになりました！」とコメント。他のスタッフからも「楽しい！海士最高！」と絶賛の声が多く、海士自慢の暑い&熱い祭りを体験してすっかり海士ファンになっていただけだそうです。



(↑) 日本芸能協会の舞踏団「若竹」の見事な踊り



(→) 知々井区出身歌手、中橋望美さん



(↑) 歌手の小沢千月さんと北分出身・国村千鳥さんの師弟コンビ。  
(→) 気迫の演奏、かわず太鼓

